

9月1日は「防災の日」

～もしもの災害に今から備えを～



毎年9月1日は「防災の日」です。

地震、台風、大雨、土砂災害など、いつ起こるかわからない自然災害。

いざというときに慌てないためには、日頃から「備える」ことが大切です。

「防災の日」をきっかけに、ご家族や大切な人と一緒に、

日頃の備えを見直してみませんか？

まずは身近な「防災」を見直しましょう！

①家族で避難場所を確認

自宅や職場周辺の避難所・避難場所を確認し、災害が起きた時の
集合場所や連絡方法を家族で話し合っておきましょう。

- * 災害時の集合場所を決めておく
- * 家族の連絡先を確認しておく
- * 災害用伝言サービスの使い方を確認する



普段から家族で話し合っておくことが安心につながります。

②防災用品をチェック

飲料水や非常食、懐中電灯、モバイルバッテリーなど、必要な防災用品を準備しておきましょう。
(食品や飲料水は、消費期限もあわせてチェックしておくとう安心です。)

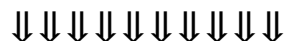


③ハザードマップを確認

お住まいの地域で、どのような災害が想定されているか確認してみましょう。
洪水・土砂災害・津波など、地域によって想定される災害は異なります。

④住宅や自動車の備えも確認

災害によって建物や家財、自動車などに損害が生じる場合があります。



「防災」と一緒に、保険も見直してみませんか？

災害への備えは、防災グッズや避難場所の確認だけではありません。

万一、自然災害によって建物や家財、自動車などに被害が発生した場合の備えについても、
この機会に確認しておきましょう。



現在加入している保険が、



「どのような災害に対応しているのか」

「補償の対象はどこまでなのか」

「今の生活に合った補償になっているのか」

を確認することも大切です。

災害は、いつ起こるかわかりません。

だからこそ、何も起きていない今のうちに、できることから少しずつ備えておくことが大切です。

家族の安全、住まい、車、そして暮らしを守るために。

9月1日の「防災の日」を、ご自身やご家族の備えを見直すきっかけにしてみませんか？

私たちは、保険を通じて皆様の安心した暮らしをサポートします。

保険について気になることがございましたら、お気軽にお問い合わせくださいm (__) m

